



9-56
文化

神秘主義の哲学

～イスラームとキリスト教、そして華嚴哲学～



会場

学園都市センター

※ P87 参照

提供

公益財団法人 東洋哲学研究所

曜日・回数

木曜日 10回

時間

13:30～15:00

受講料

8,000円

定員

30名

実施日

9月 21日 28日

10月 5日 12日 19日 26日

11月 2日 16日 30日

12月 7日

備考

そもそも《神秘》とは何でしょうか。この問いに対して答えることはできないかもしれません。

《神秘》は「語れないこと」だからです。しかし、これまでの哲学の歴史のなかで《神秘》は大いに語られてきました。「語れないこと」をどうにかして語ろうとすることはさまざまな仕方で試みられてきました。この試みは、中世の世界ではおもにヨーロッパで、またアラビアにおいてなされてきました。

本講座では、中世のキリスト教とイスラーム哲学に足場を置いて、《神秘》へと迫っていきたいと思っています。イスラーム哲学においてはスフラワルディーとイブン・アラビーの哲学、キリスト教哲学においては偽ディオニュシオスとエックハルトを取りあげて、彼らの思想を味わっていきます。さらに仏教思想にも言及していきたいと

思っています。イスラーム哲学の碩学井筒俊彦における華嚴哲学の解釈を紹介していきます。

1. イントロダクション：中世におけるイスラームとキリスト教
2. 存在の第一原因とは何か：『原因論』について
3. 光の顕現としての世界：スフラワルディー
4. 存在の顕現としての神：イブン・アラビー①
5. 現実世界の構造：イブン・アラビー②
6. 《神秘》は語れるか：偽ディオニュシオス
7. 世界からの離脱：エックハルト①
8. 何故なしの生：エックハルト②
9. 華嚴の世界：井筒俊彦
10. 残された宿題

受講生への メッセージ

できるだけわかりやすくお話しすることに心がけます。肩の力を抜いて、お気軽に参加していただければ幸いです。



【講師】山崎 達也（やまざき たつや）東洋哲学研究所 研究員

創価大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学、その後、ドイツ・ボーフム大学カトリック神学部に研究留学。現在、東洋哲学研究所研究員、創価大学、早稲田大学非常勤講師。博士（文学）。
主な著書：『哲学と神学のハルモニアーエックハルト神学が目指したもの』『新プラトン主義を学ぶ人のために』（共著）、『西洋哲学史再構築試論』（共著）、『ネオプラトニカ論 新プラトン主義の原型と水脈』（共著）。